

特別展

「花鳥画の心」展

受け継がれる東洋の自然観と理想世界



平成28年 **10月7日(金) - 11月27日(日)**

〔前期〕10月7日④・30日⑤〔後期〕11月1日④・27日⑤

*期間中、一部展示替えをいたします。

休館日：月曜日(但し、10月10日(祝)は開館し、10月11日(火)は休館)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

入館料：大人(高校生・大学生を含む)1030円 / 小・中学生510円

*20名以上は団体割引(割引)※観覧がし者手帳の提示により、本人と同様者1名まで割引

主催：公益財団法人松伯美術館、日本経済新聞社

館長上村淳之による美術講演会

11月12日(土)14時～15時 展示室にて

◆割引入館券

近鉄主要駅にある「駅営業所」にて販売中! ※学園前駅では販売しておりません。

発売期間：平成28年9月26日(月)～11月27日(日)

割引入館料金：大人(高校生・大学生を含む)820円 / 小・中学生400円

(タイトル周囲) 右下：青雲(春夏花鳥図屏風(右隻、部分)) 狩野永納(サントリイ美術館蔵、後期展示)

(左)《後苑雨後》 徳岡神泉 京都国立近代美術館蔵 全期間



松伯美術館



特別展

「花鳥画の心」展

受け継がれる東洋の自然観と理想世界

中国宋元の院体花鳥画を源流に、四季に詠い自然に寄り添って生きる日本人とその風土の中で独自に展開してきた花鳥画の世界。鎌倉後期から室町時代に禅宗と共に伝わった、写意を重んじる水墨花鳥画が画僧を中心に描かれ、武家社会の隆盛と共に、桃山時代には一派を成した絵師による大和絵と水墨が融合した装飾的で華麗な表現の展開がみられます。そして江戸時代に入ると次第に鑑賞者の階層が広がり、町絵師によって、洗練した装飾的造形性をもつ琳派や、写生も取り入れ、それぞれの絵師独自の感性で描かれた個性豊かな花鳥画が多く生み出されました。さらに明治時代以降は、西洋画の影響のもとで、多様な表現が試され、近代絵画の「ジャンル」として現代に至っております。本展では各時代の特徴を示す作品を辿り、大切に受け継がれている東洋の自然観と作品に込められた深遠な理想世界を感じて頂くことで、未来へと向かう花鳥画に託された心に触れて頂く機会となることを願うものです。

山川草木 悉有仏性



- 1 《花鳥図》 祥啓 室町 京都国立博物館蔵 前期(10/7~10/23・2週間のみ)
- 2 《竹雀図》(重文) 可翁筆 南北朝 大和文華館蔵 後期(11/1~11/27)
- 3 《四季花鳥図 右隻》 伝狩野元信 室町 根津美術館蔵 後期(11/1~11/27)
- 4 《春夏秋冬花鳥図屏風 左隻》 狩野永納 江戸前期 サントリー美術館蔵 前期(左隻)・後期(右隻)
- 5 《秋草鞠図》 土佐光起 江戸初期 静岡県立美術館蔵 全期間
- 6 《水辺春暖》 前田青邨 昭和48年 大松美術館蔵 全期間
- 7 《蹴合》 竹内栖鳳 大正15年 全期間
- 8 《白鷹図》 円山応挙 江戸中期 大雲院蔵 全期間
- 9 《孔雀》 杉山寧 昭和31年 東京国立近代美術館蔵 全期間
- 10 《朱華瑠璃鳥》 速水御舟 昭和8年 野間文化財団蔵 前期(10/7~10/30)
- 11 《青柿》 福田平八郎 昭和13年 京都市美術館蔵 全期間
- 12 《兔図》 小林古徑 昭和初期 東京富士美術館蔵 全期間
- 13 《清亮》 堂本印象 昭和7年 野間文化財団蔵 前期(10/7~10/30)
- 14 《鶏頭の庭》 山口華楊 昭和52年 京都市美術館蔵 全期間



松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号
Tel.0742-41-6666 Fax.0742-41-6886
<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/shohaku/>

次回
展覧会

「万葉に詠う」展

—「額田女王」挿絵原画を中心に—

平成28年12月13日(火)~平成29年1月29日(日)

松伯美術館友の会 会員募集中! 皆様のご入会をお待ちしております。



【交通】近鉄奈良線(学園前駅)北口バスターミナル⑤⑥番のりばよりバス約5分、(大淵橋(松伯美術館前))下車、大淵橋を渡った右側。 ※駐車台数に限りがあるため、できるだけ「電車・バス」でお越しください。